

災害のおそろしさを 次の世代へ

防災意識 向上新聞



↑よごれてしまった古文書を実際にはけでよごれを取りのぞき、きれいにしてみました。

花 朝 3月29日
に、津波の
被害につい
て考えるた
めに仙台市

へ行きました。そ
こで、津波のいカ
は、鉄を曲げてし
まうほど強いこと
を知りました。
また、東北大学
へ行き、被災した
多くの古文書を見
ました。そして、
古文書は和紙で
できているため、ぬ
れても破れにくく、
文字もにじみませ
ん。だから、ぬれ
るとデータが消失
してしまうパソコ
ンとちがって、古
文書はぬれても再
生できることにび
つくりしました。

古文書を生かして
これから、災害
が起きても、亡く
なる人がでないよ
うに、私は、いま
でに起きた災害を
文章にし残してお
くと良いと思いま
す。そうすると、
将来古文書となり
次の世代にそのお
そろしさを伝える
ことができそうです。
だから津波が来て
も今までのひなん
時の成功例や失敗
例を古文書により
知り、それを生か
してひなんができ
ると思います。